

水産

内水面水産試験場 調査部

令和5年度採用

わたしを表すKEY WORD

#長崎

学生時代は長崎県で過ごし、色々な県の友だちができました。今も交流が続いていて、最近は福島に遊びに来てくれました。

#猫

実家では猫2匹も一緒に暮らしていて、その子たちに会いに帰ることが多いです。わがままですが、ついその命令に従ってしまいます。

#ドライブ

#映画

#ハンバーグ

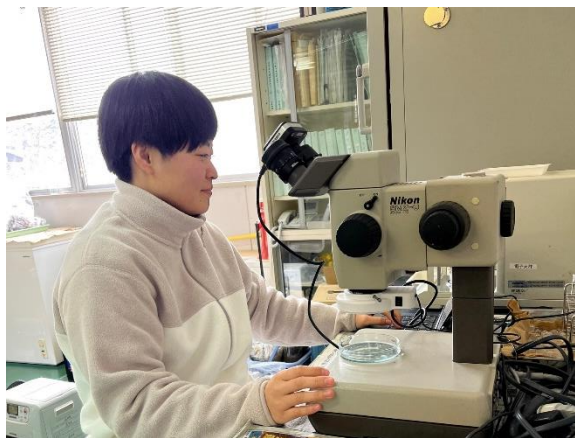
私は

新しく楽しいこと
が好き!



水産業から好きが集まる福島県に！

主な仕事は、湖沼の放射能調査と漁場環境調査です。放射能調査は浜通りの方に出張に行くことが多く、道路状況や町の様子も学ぶことができます。まだまだわからないことが多い研究分野であるため、やりがいは大きいです。漁場環境調査では、魚が生息しやすい環境にするための調査を行っています。



↑顕微鏡で確認している様子

県職員を目指した理由

生まれ育った地で自分が大学で学んだことを生かせる職業に就きたいと思ったからです。県外の大学に進学したことで福島県の良さを改めて実感し、県の水産業振興の一助になりたいと考えました。

とある一日のスケジュール

8:30	始業
9:00	調査開始
11:00	調査終了
12:00	昼休み

13:00	サンプル処理
15:00	データ整理
17:15	終業

新規採用職員研修の感想

新採用職員研修では、県職員の方々だけでなく市町村職員の方々とも交流することができたので、色々な人の職場の様子がわかってよかったです。職場の新採用職員は私一人だったので特に後期研修では、同じような仕事での悩みを共有できてうれしかったです。



↑湖沼放射能調査の様子



↑漁業環境調査の様子

この1年間で印象に残った経験

今年度の研究内容を成果としてまとめたことです。歴代の調査内容を把握しなければならなかったのが、改めて勉強になりました。どんなデータを使って何を伝えたいのかを日ごろから考えておくことが重要だと実感しました。資料にまとめる作業は大変でしたが、今後自分がどのように仕事に向き合うべきか考え直す良い機会となりました。

福島県職員として、実現したいこと・目標としていること

私は、福島県職員として漁協に寄り添ったアドバイスができるようになることを目標としています。そのためには、勉強はもちろんですが、今漁協がどんなことで困っているのかアンテナを常に張っておくことが大事だと考えます。色々な視点から発言できるように、日ごろから漁協とよくコミュニケーションを取り、学び続けます。